

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	広報番組制作放送事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	秘書広報文書課		包含する細々目	1	2	1	2	10	2	30,350
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	92 情報共有の促進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条列等		飯田市地域情報化基本計画 飯田市情報化アクションプラン				
		事業期間	14	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	全市民	飯田市の人口(人) (5月1日現在)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	107155	106,000人	
		飯田ケーブルテレビ加入世帯数(4月30日現在)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	14,600世帯		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	市政に関する情報を、音声と映像を使って提供し、市民に視聴してもらう。必要な情報を得たことにより市民が満足する。	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
		平成18年3月実施の広報に関するアンケート調査結果により、市からの情報をICTVから得た人の割合と、いいだFMから得た人の割合の平均数値(%)	18目標	23	最終目標		
		平成18年3月実施の広報に関するアンケート調査結果により、ICTVの番組に対する満足度と、いいだFMの番組に対する満足度の平均数値(%)	18実績	22	19目標	25	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標	42	最終目標		
			18実績	35	19目標	45	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	1 ICTVを通じた広報番組制作放送 特集記事を題材に企画番組「テレビ広報」を毎月1番組制作し放映している。お知らせ番組「市民だより」は、毎週更新し、毎日放映している。 2 いいだFMを通じた広報番組制作放送 企画番組「かざこし歳時記」は、各課や学校、保育園など関係する団体が登場する番組を放送している。お知らせ番組「広報いいだの風」を毎日放送している。 3 テレビ放送を通じた広報活動事業 18年度以降は、長野朝日放送にこだわることなく、状況を踏まえる中でテレビによる広報活動実施を判断していく。	ケーブルテレビを通じた広報活動 「テレビ広報」:30分番組を毎月1本制作し放映。 「市民だより」:1回に数分、1日6回放映。 いいだFMを通じた広報活動 「かざこし歳時記」:1回30分、月曜日から金曜日に放送。 「広報いいだの風」:お知らせ番組を、1回20分1日3回放送。	テレビ広報放送回数 市民だより放送回数 かざこし歳時記放送回数 いいだFM放送回数 広報いいだの風放送回数	252回 2190回 260回 1095回
		ケーブルテレビを通じた広報活動 「テレビ広報」:30分番組を毎月1本制作し放映。 「市民だより」:1回に数分、1日6回放映。 いいだFMを通じた広報活動 「かざこし歳時記」:1回30分、月曜日から金曜日に放送。 「広報いいだの風」:お知らせ番組を、1回20分1日3回放送。 テレビ放送を通じた広報活動	テレビ広報放送回数 市民だより放送回数 かざこし歳時記放送回数 いいだFM放送回数 広報いいだの風放送回数	252回 2190回 260回 1095回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	29,912	30,350
	事業費計(A)	29,912	30,350
人件費	正規職員所要時間	18年度 546	19年度 546
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,952	1,952
	トータルコストA+B	31,864	32,302

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	情報を共有する	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合	現状値	64.2	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田市地域情報化計画においてCATVとコミュニティFMでの情報提供を位置付け14年度から開始した。	ICTVの視聴エリアと加入世帯は拡大している。平成17年4月30日現在の加入世帯は14,038世帯。17年度竜東ケーブルの整備により視聴可能エリアが増加する。また、いいだFMの可聴範囲内世帯数は、約30,000世帯で、リスナーの数は、会社の独自調査によると増加している。一方でADSLも増えてきており、以前は市街地のみだったが周辺地域までエリアが拡大している。	平成16年7月実施の「広報に関するアンケート調査」結果により、満足度調査の中で主な不満や回答無しの理由として、ICTVを通じた広報番組制作放送事業については、「加入していない(68人)」「見えていない(62人)」「配線がきていない(12人)」などの意見がアンケートに寄せられている。 同様に、いいだFMを通じた広報番組制作放送事業については、「聞いていない(103人)」「聞いたことがない(31人)」「電波が届かない(4人)」などの意見がアンケートに寄せられている。 なお、平成18年3月実施のアンケートでは、452人から回答を得たが、このうち、ICTVに「加入できない」が188人(41.6%)、いいだFMを「受信できない」が120人(26.5%)の意見が寄せられている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	市の行政情報を伝える、エフエム放送とケーブルテレビでの番組に対する満足度を平成20年度までに高める。 エフエム放送 39.0% 40.0% ケーブルテレビ 31.0% 32.0%
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	現行の番組作成のスタイルは継続するが、番組内容を随時更新していく。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	